

トピックス

鉄道構造物等設計標準に関する講習会を開催

鉄道総研は鉄道構造物等設計標準の改訂、制定などを受けて、以下の講習会を開催しました。

■鉄道構造物等設計標準・同解説（基礎構造物）

平成23年12月に、「鉄道構造物等設計標準・同解説（基礎構造物）」が改訂されました。改訂に際しては、国土交通省の指導により、鉄道総研を事務局とする「基礎構造物・抗土圧構造物設計標準に関する委員会」が設置されて種々の検討が精力的に進められ、性能照査型設計法への移行を含めた最近の基礎構造物の施工技術に即した材料や工法を導入し、最新の知見を取り入れた応答値の算定法や照査方法の見直しを図りました。これにより、基礎構造物の設計が安全かつ経済的に行えるようにしています。

これを受けて、平成24年1月16日および1月30日に講習会を開催し、上記設計標準の内容を解説するとともに、設計標準に基づく各種基礎構造物の照査例を紹介しました。

■鉄道構造物等設計標準・同解説（土留め構造物）

平成23年12月に、「鉄道構造物等設計標準・同解説（抗土圧構造物）」と「鉄道構造物等設計標準・同解説（土構造物）」の補強土構造物が統合され、「鉄道構造物等設計標準・同解説（土留め構造物）」として、新規発刊されました。発刊に際しては、国土交通省の指導により、鉄道総研を事務局とする「土構造物設計標準（土留め構造物）」に関する委員会」が設置されて種々の検討が精力的に進められ、用途別に擁壁、橋台に大きく分け、それぞれに抗土圧構造物、



補強土構造物を据え、最新の知見を取り入れた応答値の算定法や照査方法の見直しを図りました。これにより、土留め構造物の設計を抗土圧構造物、補強土構造物の両方で統一的に取り扱い、安全かつ経済的に行えるようにしています。

これを受けて、平成24年1月17日および1月31日に講習会を開催し、上記設計標準の内容を解説するとともに、設計標準に基づく各種土留め構造物の照査例を紹介しました。

■鉄道構造物等設計標準・同解説（軌道構造）

平成23年12月に、「鉄道構造物等設計標準（軌道構造）」が制定されました。制定に際しては、国土交通省の指導により、平成18年度より鉄道総研を事務局とする、「軌道構造設計標準に関する委員会」が設置されて、種々の検討が精力的に進められました。

今回制定された設計標準は、バラスト軌道、直結系軌道、軌道部材、分岐器類などを包含した日本で初めてのものであること、全面的に性能照査型設計法を取り入れたことなど、これまでの軌道構造の設計法とは異なる、新たな視点が数多く取り入れられており、各種軌道構造や軌道部材などの設計が、より安全かつ経済的に行えるものと考えています。

これを受けて、平成24年2月1日および2月24日に講習会を開催し、上記設計標準の考え方や内容について、その背景も含めて解説しました。また、設計標準に基づく照査例やバラスト軌道の照査プログラムについても紹介しました。

